p. 488 (1846)—MIQUEL, Prol. Fl. Jap. p. 361 (1866-1867)—FRANCHET et SAVATIER, Enum. Pl. Jap. I, p. 350 (1874)—J. D. HOOKER, Fl. Brit. Ind. IV, 294 (1885).

Nom. Jap. *Hurasaba-sô* (nom. nov.)

Hab. Kyusyu: Prov. Hizen; Nagasaki (Z. TASHIRO, Mai. 1, 1911)

(奥 山 春 季 S. OKUYAMA)

○があべらノ帶化

昨年夏知人ガ一束ノ *Gerbera aurantiaca* SCH. BIP. (あかばなせんぼんやり) ヲ花屋カラ買ツテ來タ。其中ノ一本ハ寫眞ノ通リ根生花梗、卽チ葶、卽チ scape ノ尖端ニ 3 個ノ頭狀花ヲ著ケテ居タノデ、友人額田敏氏ニ撮影シテ貰ツタノガ此寫眞デアル。一本ノ葶上ニ、3 個ノ花ヲ著ケタノデハナイ。があべらハ菊科デアルカラ、頭狀花ガ 3 ツ出來タノデアル。



たんぽゝノ葶ガ帶化シテ、多數ノ花ヲ着ケルコトハ珍ラシクハナイガ、此場合ハ帶化シタ樣ニハ見エナイ。證據ハナイガ、3 本ノ葶ガ癒合シタ樣ニ思ハレル。兎ニ角一現象トシテ記錄シテオク。尤モ、帶化モ、癒合モ結局同一ナリト云フ見解ニ從ヘバ、ソレ迄デアル。要スルニ、畸形ノ理論ハ仲々六ケ敷イカラ、事實ヲ事實トシテ記錄シテ置クヨリ仕方ガナイ。下ラナイ事ダト卑下シテ仕舞ヘバソレ迄ノ事ダガ、其レヨリモ事實ヲ澤山記錄シテ將來理論ヅケル材料ニスルノモ一ツノ手デアルト思フ。ソレニハ、色々ナ條件ヲモ併セテ記錄シナケレバナラナイガ、畸形ハ多クノ場合其現象ガ現レテ初メテ目ニツクノデ、ドウニモナラナイ。

(久 内 清 孝)

○白花かたくり

かたくり (*Erythronium japonicum* MAKINO) ノ中ニ、白花ヲ咲カセルモノガアルコトハ、秋田縣北秋田郡ノ某所ニ古クヨリ知ラレ、コレガ風邪ノ熱サマシニナルコトガ傳ヘラレテキル。

筆者ハ昭和 8 年 4 月ニ北秋田郡大葛村ニ、純白色ノモノト白紫色ノモノト數株ヲ得タ。